

信条

本会は、同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする。
(会則第3条)

法政大学
社会学部

同窓会報

Vol.26

法政大学社会学部同窓会

発行人 鹿山 秀佳(同窓会会長)
編集人 伊藤 正義(会報委員長)
〒194-0298 東京都町田市相原町4342
法政大学3号館(図書館・研究所棟)5階
TEL・FAX 042-783-2421
http://www.houseisoc-dousoukai.jp/
郵便振替口座 00140-1-63762

連携を深め共に前進・発展を
教学改革06年より始動

教授会と同窓会との懇談会開く



社会学部長室のテーブルを囲んでの懇談会。教授会より船橋晴俊、田中充、原田悦子、田中優子各教授が。同窓会より鹿山秀佳、近藤栄一、伊藤正義、横館英雄、濱名達彦の各氏が出席。

教育

人間論的関心を柱にした
社会問題の理解と解決

目標

社会学部創設50年、多摩移転20年目の節目に「授業評価」による大学改革が顕著だ。5月24日、2年目の船橋晴俊社会学部長室で、教授会執行部と同窓会役員事務局との懇談会を開催。06年より、社会学部3学科の新教学改革が明らかにされた。

今回の懇談会は、学部の現状と展望について説明を受け、同窓会の活動を報告しながら連携を更に強化するため開催された。

冒頭、船橋晴俊社会学部長と鹿山秀佳会長の挨拶の後、出席者の自己紹介があり、多岐に渡る意見交換がなされた。ここに、教学改革を進める執行部と手を携えて前進する同窓会の懇談の一端をお伝えします。

「授業評価」と教育研究の将来構想、つづいて着手した船橋社会学部長は「教学改革は順調に進み各委員会も非常に盛り上がり、来年度より新しい状況に移行する」と語ります。そして「この1年間は同窓会からも連続講座他いろいろと配慮を頂き、

画期的な人材育成が期待
7コース・8プログラム制

03年11月に設置された「全学FD推進委員会」による授業方法や内容を組織的に改善しようとする動きと併行して、社会学部の教学改革は既に04年度より一歩前進させようとする積極的な取り組みで、06年度より新カリキュラムが展開される旨が学部長より説明された。

それによると、社会政策

世界に一つだけのカリキュラムの組合せができる、画期的な少人数教育による人材育成が期待されます。

3学科の7コース・8プログラムの7コース・8プログラムの表の通りですが、2・3・4年次の専門教育期は15の中から2つを選択する履修体系で、現代社会をトータルに調査研究する内容です。

少人数ゼミをコアに
フィールドの成果も

ゼミをコアにしたアカデミック・コミュニティも、学部専用棟の中で全学年に多数の少人数ゼミを開講。ゼミや実習でのフィールド学習も重視されています。

その成果として、ドリッパによる討論会・講演会。ワークショップによるガイドブック、ボランティア貢献、team-ITA。リサーチによる研究発表会、報告書、調査の記録集。メディア化による映像作品、社会学部パンフレット、公式ホームページを学生自ら創作体験し学問的充実感を得ているのは、他に類は見られない。

優秀卒業生の発行
学術フェスティバルも

また、04年度からは海外の5大学への半年間の留学制度の開設や、学部特有の「社会調査士」資格が取得可能になり、その他に教職・博物館学芸員・図書館司書・社会教育主事なども用意。そして全学で初めて刊行した「優秀卒業論文集」は、対外的な広報誌料でもあり、後輩のよき模範となり、学術の水準を上げていく刺激にもなっている。

さらに「社会学部学生会」がある段階で消滅したが、この12月頃に「学術研究発表会」を実施して、学生の自発的な研究活動発表の場を設定したいと表明。そこでゼミを基盤に学術大会を年1回開催して、いわば「学術フェスティバル」による学生の帰属意識、自主的なチームワークづくりの学風を期待して教授会に諮る準備が進行している。

学部長は「学部カリキュラムに沿った教育内容がベスとなるよう当執行部が必死で委員会を設定し、教員の4割が忙し中ポリシー作りに奔走している」と東の法政・立教、西の関学・同志社と背を並べた社会学部の大学間競争時代に進展している。

(編集部)

学問の原点は戦争と平和

気になるナショナリズム

非常に偏頗な「ナショナリズム」が鼓吹されている風潮だ。恩師の丸山眞男氏同様、今の研究テーマにしている。政治的経済的だけでなく、思想的文化的ナショナリズムも検証したい。旧制一校で安倍能成先生か

増島 宏

「増島」が鼓吹されている風潮だ。恩師の丸山眞男氏同様、今の研究テーマにしている。政治的経済的だけでなく、思想的文化的ナショナリズムも検証したい。旧制一校で安倍能成先生か

名誉教授
登場

増島 宏

増島 宏は戦後60年を生き延びたことに自信を持って欲しい。そしてその経験を若い人に伝えて欲しい。

増島 宏

増島 宏は戦後60年を生き延びたことに自信を持って欲しい。そしてその経験を若い人に伝えて欲しい。

増島 宏

増島 宏は戦後60年を生き延びたことに自信を持って欲しい。そしてその経験を若い人に伝えて欲しい。

懐かしの市ヶ谷キャンパスに集まろう!

社会学部同窓会は7月16日(土)に次の催事を開催します。今話題のボアソナードタワーを仰ぎ、大内山の庭園を見下ろす、「58年館2階・教職員食堂」において、年に一度の定期総会を中心に多彩に開催します。開場は12時30分からです。

第一部 第17回 社会学部同窓会定期総会

第17回定期総会を会則第5条に基づき下記の通り開催します。

社会学部同窓会会長 鹿山 秀佳

日時 7月16日(土) 午後1時~2時

場所 58年館2階・教職員食堂・東側

議題 ①2004年度活動・事業報告、収支決算報告承認の件
②2005年度活動・事業計画、収支予算(案)承認の件
③役員補充の件
④その他

第二部 定期総会記念・特別講演会

あなたは「チャケバ」「盛る」「逆バカ」こんな言葉の意味がわかりますか?放送メディアでの新語解説や活字メディアでのコラム執筆で活躍中の「新語アナリスト」を迎えての講演会。67年社会学部卒、69年修士課程修了。自由国民社の「現代用語の基礎知識」の編集に携わり、10年間の編集長を歴任。

日時 7月16日(土) 午後2時~3時

場所 58年館2階・教職員食堂・東側

題目 「新語・流行語の現在」

講師 亀井 肇 (新語アナリスト)

第三部 社会学部卒業生の集い・懇親会

名誉教授・歴代学部長・教授陣の来賓も加わり、交流の輪を拡げます。プレゼントも準備して、ご来賓をお待ちしています。

日時 7月16日(土) 午後3時~5時

場所 58年館2階・教職員食堂・西側

会費 5,000円(同伴者4,000円)

申込み 社会学部同窓会事務局 T&F 042-783-2421

市ヶ谷キャンパス最寄駅
JR総武・中央線「市ヶ谷駅」「飯田橋駅」下車徒歩10分